

議長（前原英石君） 5番 山崎知信君。

5番（山崎知信君） おはようございます。

私は2点の質問をいたしたいと思います。

東部消防組合について伺います。

東部消防組合上市消防署舟橋分遣所がことし10月1日に開始されますが、高規格救急車が約3,100万ですか、もうそこに配備されておりますけれども、これはあくまでも10月1日からということで、その間の、9月末までの救急対応が万全に機能されているのか伺います。

次に、環境整備計画についてでございます。

副村長は私の12月の一般質問でいろいろ立派な答弁をされ、輝きのある計画になりますようにとっておられました。その後、2月には第2回目の検討会、南部地区も含めた全体の事案を示し、3月末までには方向性を決めると明言されております。

さて、その後どんな進展があったのでしょうか。

また、駅北の用地取得を示し、具体的にはどのようにするのでしょうか。

そして、これも環境整備計画になると思いますが、地元の議員が住民の要望を受けて一般質問で駅の駐輪場の問題を指摘し、当局側が調査により80万円の駐輪場をつくと執行され、議会の議決も承認しましたが、去る5月27日の実態状況では、まだ余裕があるので中止という報告を受けましたが、どうしてこんなことになるのでしょうか。誰かの横やりが入ったかもわかりませんが、どうしてこのようになったのか伺います。

また、先ほど川崎議員も言われましたけれども、京坪川河川公園も拡張する用地取得も計画されておりますが、この場所もどのようにするのか伺います。

先ほど高島課長も答弁されましたけれども、あんまりよくわかりませんので、再度お願いします。

以上でございます。

議長（前原英石君） 総務課長 松本良樹君。

総務課長（松本良樹君） 私のほうからは、富山県東部消防組合についてのご質問にお答えをいたします。

東部消防組合につきましては、ご案内のとおり、平成25年1月に設立され、同3月より消防本部の運用が開始されました。このことにより、本村が常備消防となったとこ

ろであります。

従来から立山町に委託しておりました救急業務につきましては、昨年4月より上市消防署の管轄となり、119番の通報は上市消防署に入ることになりました。この3月までの1年間に60件の救急車の出動があり、特に問題もなく迅速に対応していただいております。

また、ことし4月より消防本部の通信指令センターが稼働いたしました。119番通報は本部での一括管理となり、火災や事故の通報を受けると発生箇所が瞬時に把握され画面に表示され、現場に最も近い車両に出動指令が出されます。車両に積載されたナビゲーションには現場までの最短ルートが表示されますので、より迅速な対応がなされるようになっております。

3月10日の試験運用開始以来、舟橋村へは18件の出動があり、いずれも適切に対応されております。

また、10月1日より舟橋分遣所の運用が開始されますので、当然のことながら、より早い対応が可能となり、村民の安心・安全につながるものと考えております。

火災対応につきましても、組合発足後は初動体制で消防車が3台出動することとなっております。通信指令センターの運用が開始された以降は、消防職員や消防団員へもメールが配信され、より迅速に対応できる体制となっております。

いずれにいたしましても、富山県東部消防組合並びに上市消防署との連携を密にしながらより安全・安心な村づくりに取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

議長（前原英石君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 私からは、舟橋村環境総合整備計画についてお答えをさせていただきます。

この計画につきましては、昨年12月議会では山崎議員さんから、ことし3月議会では竹島議員さんからそれぞれご質問をいただき、その時々までの状況についてお答えをしております。

また、今定例会におきまして、村長の提案理由で具体的なお話がありましたので、私からお答えする内容はほとんどございませんが、お許しをいただきながら、少しご説明をさせていただきたいと思っております。

この計画の位置づけは、将来人口の動向を見据え、持続可能な村づくりを目指し、ふ

なはしむら健康構想と職員研修の人口問題プロジェクトで提案された施策を踏まえ、今後10年間に実施すべきハード・ソフト両施策を盛り込んだ計画としております。

現状と課題分析では、富山大学地域連携推進機構のご協力も得まして、住宅供給の変遷、図書館、公園等都市施設・都市基盤の状況、主要地方道富山立山公園線沿いの南部地区の開発動向、竹内天神堂古墳周辺の歴史的・文化的資源の活用法、持続的な人口構造を維持するため子育て世帯等の転入促進策、現在村が抱えておりますさまざまな問題を調査・研究してまいりました。

その結果、村の将来像のキャッチフレーズを「子供を育てるなら舟橋村！ 住み続けるなら舟橋村！」、先ほどからも出ておりますが、としまして、施策の方向性といたしましては「独身・子育て世代」と「エイジレス世代」をターゲットといたしまして、住まう「場」づくり、育む「場」づくり、生きがいの「場」づくり、つながる「場」づくりと4つの「場」づくりを打ち出しております。

具体的には、村の次世代の住まいを提案するエリアマネジメントを導入した協働型モデル地区開発事業、留学生の協力を得て幼児期から英語に接する機会の高い地域づくりを行う地域ぐるみ英会話促進事業、子育て世代が安心して生活できるよう小児科医の誘致事業、エイジレス世代と子育て世代の世代間交流事業、地域社会の支え合い機能の低下を防ぐ健康カフェや村歌イベント開催等の生きがいづくり事業、京坪川河川公園を拡張し新たな魅力を増すためにも自分たちの公園との意識を高め、愛着を持ってもらう住民参加型公園づくり事業、駅北地区一体を周遊できる歴史・文化・憩いのゾーン形成事業等でございます。

計画策定のスケジュールにつきましては、昨年から精力的に取り組みまして、ほぼ予定どおり進みました。現在は概要版の印刷を発注済みでございますので、でき上がり次第、配布をさせていただきたいと思っております。早い時期の説明の機会も設けまして、ご理解を賜りたいと思っております。

今年度、早速予算化した事業もございりますが、計画全体をバランスよく推進するためには、行政と住民の皆さんがともにふるさとをよくしていこうと、手と手を取り合って進める仕掛け、先ほど来も出ておりますが、協働型まちづくりへのシフトも重要な要素となってまいります。議員各位のさらなるご支援をよろしくお願いいたしまして、答弁とさせていただきます。

あっ、失礼しました。申しわけございません。

先ほどご質問ありました駐輪場の件でございますが、駐輪場の件は、今申し上げましたとおり、駅北地区一体を周遊できる歴史・文化・憩いのゾーンという中での取り組みも含めまして総合的に対応してまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

議長（前原英石君） 山崎知信君。

5番（山崎知信君） 東部消防組合の救急対応がどうなっておるのかと問いただしましたら、総務課長が、昨年4月からもう環境が整っておると言われましたけども、ここに新聞記事がございますけど、村長。これは5月2日の新聞記事でございます。先ほど明和議員が言われましたオレンジ・パーク、芦原地区の、京坪川の付近の事故かと思っております。そして、この人は、新聞によりますと、女の方が重傷ということになっております。

さて、この女の方、重傷の方が、当時、事故に遭いました。119番しました。村長、どこへつながったと思いませんか。

〔発言する者あり〕

5番（山崎知信君） この女の方が事故を起こして、119番の通報をしたんですよ、間違いなくね。ほったら、どこへつながったかと思いませんか。

〔「上市署」と呼ぶ者あり〕

5番（山崎知信君） それは、間違いでございます。

この119番は立山の消防署へつながったんですよ。そして、立山の消防署は、住所がわかっとながですけど、うちでは対処できないということで、それでは魚津の本部へつなげますと、魚津の本部へつなぎました。

この女の方は、「はい、魚津消防署です」と言うたら、「何で私、魚津から救急車が来んなんがけ。早くオレンジ・パークへ来てくれ。京坪川の河川公園へ来てくれ」と言うてもちんぷん、かんぷん。魚津署はわかりませんでした。それで、上市へつなぎました。上市消防署は、「はい、わかりました。中学校のふちのオレンジ・パーク、京坪川の公園ですね」とすぐ対処したという出来事がございます。

だから、4月から万全ということはないように私は思いますので、再度確認して、住民の安心・安全を高めてもらいたいと、このように思います。

次ですけども、環境整備計画。これ、村長自身の後援会、4月29日に、ここに後援会長さんもおいでになりますけども、たしかあこの中で、この公園を拡張して、ある議

員の名案で、私はパークゴルフ場もつくりたいという答弁だったかと思しますので、その点、再度村長にお伺いしたいと思しますので、よろしくをお願いします。

それで、オレンジ・パークの用地取得。これは、さっき副村長が言われましたけども、整備計画を踏まえてこれからやるんだということだったんですけども、12月、地元の議員さんが一生懸命質問して、なら、80万円の予算を執行して、議員が議決した案件なんですよ。これが、しかけて、5月27日の写真やら、何やら見せてもらって、まだ余裕があると。こういうことは一体どういうことなのかを伺います。

以上でございます。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 山崎議員さんの再質問にお答えしたいと思います。

先ほど救急体制といいますか、それがスムーズに行っておるということで総務課長が答弁したわけでありまして、今ご指摘があったことにつきまして、私も初めて聞いたわけでありまして、大変恐縮しております。本当に申しわけなく思っております。そういうことのないように今後努めてまいりますので、よろしくお伺いしたいと思います。

まず最初に、オレンジ・パークの敷地拡張のことでございますけれども、この計画に当たっては、いろいろと皆さん方に、こういった文言の使い方に対して非常に私は、あれは拡張というよりも、当初3万2,000平米の都市計画決定のもとにあの公園はつくられたわけです。しかしながら、その中に1,600平米余りが未買収のままだったということなんです。ですから、もう当然、当初からの公園の計画に入っておったと思うがです。今、ちょっと追加ということに、そういうような形にとらせていただいたわけでありまして、それは経緯があるわけでありまして。

いずれにいたしましても、地権者の方の同意をいただいてようやくそういう未買収のところを買収できるようになったということでありまして、もともとの計画の中の地面であるということもご理解いただきたいわけでありまして。

それで、具体的な話になるということでございますけれども、私は、中新川広域行政事務組合の管理者であるわけでありまして、ご案内のとおり、敷地が相当広いものを持っております。事務組合が持っておるんですね。その中に非常に遊休地があるもんですから、地域の、そういった健康増進といいますか、活用したらどうかということで、いわゆるパークゴルフ場として整備したらどうかということで管理者会議で申し上げた

わけであります。

しかしながら、管理者会議の中で、それはちょっと待ってくれよと。あの用地は、しかじかの目的で、いわゆる下水道事業の振興を図ると。要するに、設備を、いろいろと機能を持たせるために当初求めたものであると。変更するなら変更するといふときは、当然、地元のいろんな方々の了解がまず必要でなかろうかというような話もありまして、そしてその提案としまして、管理者会議の提案といたしまして、どういうことかといひますと、何か別につくったらどうかと。我々も2町1村で構成してあるわけありますから、2町は応援するよと。そういう話があったわけです。もう一度言いますと、パークゴルフというものがあつたわけですね。

そこで、私はそういった構想から、なら、新たにそういったことをお願いするといふことは非常に無理だと思つておりますし、財政的に皆さんも厳しゅうございますので、そこで今のところにそういった、それがもし可能ならばパークゴルフの施設を、そういったものをあの中に盛り込んだらどうかといふのが頭の中に私はあるわけでありまして、まだ皆さん方には、初めて私は披露しておるわけでありましてけれども、そういったことがあるといふことだけは、この場で申し上げておきたいと思つております。

いずれにいたしましても、先ほどから課長も答弁しておりますように、皆さんとともに計画を練り上げるといふことを前提にしてあるわけありますので、そういったことも含めて、今後検討させていただきたいといふことであります。

それから、駅前の駐輪場の増設の話でありますけれども、私は5月の27日に皆さん方に写真の物をお渡ししたのは、駐輪場がどのように今なつているかと。要するに、何といひますか、正しく、そのように駐輪されておるのかと、いわゆるはみ出しておるとかいろんなことがあつたもんですから、現況を皆さんに見ていただきたいと。で、余裕があるとかないとかといふことよりも、そういった現況の中で、駅前の環境から見て、ああいった駐輪場の施設が十分機能を果たしておるのかどうかといふことを含めて皆さん方とご相談申し上げるための資料として出したわけあります。

で、課長が申し上げておる、あこの、駅前の用地取得をするにつきましては、皆さん方に、初めてかもしれませんけれども、今、立山黒部、黒部立山とも言つておるジオパーク構想がありまして、これが間もなく、私は、8月には指定を受けるんじゃないかと思つておるわけあります、そのエリアの左側といひますか、中に、非常に歴史的なものがあるわけです。といふのは、私もわからなかつたんですけれども、舟橋村史

を今編纂中でございます。その中で、委員の方から説明を受けたわけではありますが、この天神堂古墳、非常に意義あるものだということも出てきたわけであります。

そういったことから、史料的な物の観点といいますか、そういったことを含めて、あの遺跡がすばらしいもので、きちんと出てくれば、私はそういったことも含めて駅前の開発といいますか、構想を練り上げていかなくちやならんというふうにも思っているわけありますので、それにつきましては、今後いろいろと調査の結果が出てくると思っていますので、そういったことも皆さん方に情報を提供いたしまして、検討させていただきたいと、こういうふうなことを申し上げておきます。

そういうことで、ちょっとあっちへ行ったり、こっちへ行ったりした答弁になったと思いますけれども、いずれにしましても、基本的な考え方は、オレンジ・パークについてはそういった、当初からの計画の中のエリアであるということ。そしてまた、駅前につきましては、駐輪場を含めて、そういった構想の中できちんとしたものに整理をしていきたいと、こういうふうにも思っているということを申し上げて、私の答弁にさせていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。